

単元名 世界の諸地域

配当時間 28時間

- 単元の目標 (1) アジア, ヨーロッパ, アフリカ, 北アメリカ, 南アメリカ, オセアニアの地域的特色を資料から読み取り, 大観するとともに, 世界各地で顕在化している地域的課題は, それがみられる地域の地域的特色を受けて, 現れ方が異なることを理解することができる。
- (2) 世界の各州において, 地域でみられる地球的課題の要因や影響を, 州という地域の広がりや他地域との結びつきなどに着目して, それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し表現することができる。
- (3) 世界の諸地域について, よりよい社会の実現を視野に, そこでみられる課題を主体的に追究しようとする。

標準的な展開例

10220201_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1. それぞれの州についてのイメージを話し合い, 単元の学習計画を立てる。</p> <p>★世界の六つの州について知っていることを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの州について知っていることを発表し合う。 ○単元の学習問題をつかむ。 ●世界の六つの州には, どのような地域的な特色や課題があるのだろう。 ○地域的な特色を追究するためのテーマについて話し合い学習計画を立てる。 「自然」「気候」「産業」「言語」 「衣食住」「宗教」「文化」 ・衣食住に興味があるため, 世界の様子を衣食住に着目して学習に取り組みたい。 <p>2. 自然環境と人々の関わりから, アジアを大観する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料を見て, アジアについて気付いたことを話し合う。 <p>★アジアの自然環境や人々の生活には, どのような特色があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アジアの自然環境について調べる。 ○アジアの人口と多様な文化について調べる。 ○アジアの農業と工業について調べる。 ○小単元の学習問題をつかみ, 学習計画を立てる。 ■アジアの国々は, どのように経済を発展させ, どのような課題を抱えているのだろう。 <p>3. 東アジアの世界への輸出による経済発展について調べる</p> <p>★東アジアの国々は, どのようにして急速な工業化を進めることができたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東アジアの経済発展について調べる。 ○中国の工業が急速に発展した理由について調べる。 ○中国の経済発展にともなう課題について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸部では工業化が進んでいるが, 内陸部はあまり進んでいない。 ・工業が発展している都市と大気汚染が激しい都市は, 同じところが多い。 <p>4. 東南アジアの地域統合などによる経済発展について調べる。</p> <p>★東南アジアの国々の経済発展には, どのような特色があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東南アジアの農業, 漁業について調べる。 ○東南アジアの工業化について調べる。 ○東南アジアの発展について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ASEANの国々は, 物資や資金の移動を制限しないようしくみを目指そうとしており, 東南アジアの経済発展を進めている。 <p>5. 南アジアの人口増加と産業の変化による経済発展について調べる。</p> <p>★南アジアの産業には, どのような特色があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南アジアの人口と農業について調べる。 ○南アジアの経済発展と人々の生活の変化について調べる 	<p>・教P. 43</p> <p>・(地域どうしのつながり, 地域)</p> <p>【評】世界の州について知っていることを発表し合い, それを基に学びたいことを考える活動を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教P. 44～P. 47</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の資料を見て, 気付いたことや疑問点などを話し合わせる。 ・地形や気候, 人口の分布, 農業地域の広がりなどに着目させる。(人と自然とのかかわり) ・地形的な特色を押さえる。また, 雨温図を活用して, 季節風, 雨季, 乾季などについて押さえる。 ・人口の多い国が, アジア州に多いことを想起させる。 ・次時以降は経済発展に着目するため, 農業については本時で全体像を捉えさせるようにする。 ・地図帳P. 21を活用させる。 <p>・教P. 48～P. 49</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賃金が安くて豊富な労働力や国の政策, 外国企業との関わりに着目させる。(地域どうしのつながり) ・身の回りにある製品で, 東アジアの国々で作られたものがないか調べさせる。 ・教科書の資料から, 中国のどの地域で経済発展が進んでいるのかに気付かせる。 ・地図帳P. 28を活用させる。 <p>【評】資料から東アジアの地域的課題を読み取る活動を通して, 「知識・技能」を評価する</p> <p>・教P. 50～P. 51</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出品の変化や, 東南アジアの国々の結びつきに着目させる。(地域どうしのつながり) ・地図帳P. 35を活用させる。 ・地図帳P. 36を活用させる。 <p>【評】国家間の協力や結びつきを強める利点について説明する活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教P. 52～P. 53</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業や工業の変化, ICT産業の発展に着目させる。(地域どうしのつながり)

- ・南アジアは、イギリスの植民地だったことで英語が普及しており、高度な教育を受けた人も多いことから、アメリカなどのICT関連の企業との結びつきを強めることができた。ソフトウェアの開発や英語を使うコールセンターなどの仕事が増えたことによって、インドの経済を発展させることができたが、一方でスラムが作られるなど、格差が生じてしまっている。
- 6 西アジア・中央アジアの豊富な資源を生かした経済発展について調べる。
- ★西アジアや中央アジアの国々は、どのようにして経済を発展させているのだろうか。
- 西アジアの経済発展について調べる。
 - 中央アジアの経済発展について調べる。
 - 西アジアや中央アジアの宗教と紛争について調べる。
 - アジアのまとめをする。
 - ・東アジアは、外国企業とのつながりによって発展している。
 - ・東南アジアは、東南アジアの国々が協力することによって発展している。
- 7 自然環境と人々の関わりから、ヨーロッパを大観する。
- 資料を見て、ヨーロッパについて気付いたことを話し合う。
- ★ヨーロッパの自然環境や人々の生活には、どのような特色があるのだろうか。
- ヨーロッパの自然環境について調べる。
 - ヨーロッパの多様な生活について調べる。
 - 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
- なぜヨーロッパの国々は、国境を越えた統合を進めるようになったのだろうか。
- 8 ヨーロッパの国境を越えた統合の歩みについて調べる。
- ★様々な民族が生活するヨーロッパは、どのようにEUとしてまとまっていったのだろうか。
- 多様な民族と共通する文化について調べる。
 - 国境を越えた統合について調べる。
 - ・一つ一つの国は小さいが、EUとして統合されるとアメリカや中国にも対抗できるくらいになっている。
 - 統合による生活の変化について調べる。
- 9 ヨーロッパの統合による産業の変化と課題について調べる。
- ★EUを中心としたヨーロッパの産業には、どのような特色や課題があるのだろうか。
- 地域によって異なる農業について調べる。
 - EUがめざす農業とその課題について調べる。
 - 国境を越えた工業の動きについて調べる。
 - ・共通農業政策によって、安定的な食料生産が可能になり、EU内での主要な農産物の自給ができるようになった。

- ・地図帳P. 39を活用させる。
 - ・教科書や地図帳の資料から読み取った情報を基に、南アジアの経済発展について考えさせる。
- 【評】南アジアの発展の要因や影響を、他地域との結びつきから多面的・多角的に説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 54～P. 55
- ・鉱産資源の種類と生産量、輸出による収入の使い方に着目させる。（地域どうしのつながり）
 - ・石油の生産量や、石油輸出国機構に着目させる。
 - ・鉱産資源の開発に着目させる。
 - ・イスラム教が紛争やテロを起こす宗教のような誤解をさせないように配慮する。
- 【評】経済発展の中で変容していく各地域の政策などについて共通点や異なる点を見つけ、よりよい課題解決の方法を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 58～P. 61
- ・教科書の資料を見て、気付いたことや疑問点などを話し合わせる。
 - ・地形や気候、高緯度での人々の生活、人口の分布などに着目させる。（人と自然とのかかわり）
 - ・アルプス山脈の南北では、自然環境に大きな違いがあることをつかませる。
 - ・氷河やフィヨルドなど、特徴的な地形があることを押さえる。
 - ・海流や偏西風の影響で、温暖な地域となっていることをつかませる。
 - ・緯度の高さによって、夏と冬とで昼の長さが大きく異なり、人々の生活に影響を与えていることをつかませる。
 - ・ヨーロッパの国々は、人口や面積の規模が小さい国が多く、国境を越えた統合を進めていることを押さえる。
- ・教P. 62～P. 63
- ・キリスト教という共通性のもとで様々な宗派や言語が存在するヨーロッパで、多民族が共生する社会がつけられたことに着目させる。（地域どうしのつながり）
 - ・様々な民族が住んでいる地域だが、文字や単語が似ているところや、キリスト教が広く信仰されているという共通性があることをつかませる。
 - ・世界大戦を教訓に、再び戦争を起こさないよう、戦争に必要な鉱産資源を共同で管理したり、協力しながら経済発展を目指したりすることがきっかけとなったことをつかませる。
- 【評】資料を使って、EUの人口・面積・GDPを読み取る活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・EUが作られたことによって、人々の生活が便利になったことをつかませる。
- ・教P. 64～P. 65
- ・ヨーロッパの農業や工業の発展の様子について、地形・気候やEUによる統合に着目させる。（地域どうしのつながり）
 - ・アルプス山脈の南北で自然環境が異なることから、農業の特色にも違いがあることをつかませる。
 - ・資料から、EU内で主要な農産物を自給することに成功したことに気付かせる。
 - ・国境を越えた工業の動きによる利点や課題をつかませる。

- ・工業では、それぞれの国の技術をもち寄り、高度な製品を作ること、アジアやアメリカとの激しい競争にも対抗できるようになった。
- 10 ヨーロッパの統合による社会の変化と課題について調べる。
 - ★ヨーロッパの資源・エネルギーの変化は、人々の生活にどのような影響をあたえているのだろう。
 - 環境保全による持続可能な社会への取り組みについて調べる。
 - 環境に配慮した資源・エネルギー政策と課題について調べる。
- 11 ヨーロッパの移民の増加とゆらぐ統合の動きについて調べる。
 - ★ヨーロッパは、今後もEUとして地域の結びつきを強めていくべきだろうか。
 - 様々な人々が住む多文化社会について調べる。
 - ゆらぐEUの統合について調べる。
- 12 EU離脱について考える。
 - イギリスのEU離脱問題について考えよう。
 - イギリスがEU離脱を決めた背景について調べる。
 - イギリスの人々の声を読んで、EU離脱に賛成か反対かを考える。
 - イギリスの人々の声で挙げられている意見以外に、EU離脱について考えられる意見を考える。
 - すべての意見を参考に、イギリスの離脱に賛成か反対かを判断し、自分の考えをまとめ、発表し合う。
 - ヨーロッパのまとめをする。
 - ・ヨーロッパは、アメリカや中国などの大国に対抗しようという考えもあり、経済発展を目指した統合を進めてきた。それによって、人々の生活は国境の制限が少なくなり便利になった一方で、人が自由に移動できることにより移民や難民などの課題が生じるなど、新たな課題が出てきている。
- 13 自然環境と人々の関わりから、アフリカを大観する。
 - 資料を見て、アフリカについて気付いたことを話し合う
 - ★アフリカの自然環境や人々の生活には、どのような特色があるのだろう。
 - アフリカの自然環境について調べる。
 - 自然環境に適した農業について調べる。
 - アフリカの歴史と南北で異なる文化について調べる。
 - 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
 - アフリカは、どのようにして様々な課題を解決し、自立・発展をしようとしているのだろう。
- 14 農産物や鉱産資源の輸出にたよる経済について調べる。
 - ★アフリカの国々の経済には、どのような特色があるのだろう。
 - 輸出用の農産物の生産と食料自給の問題について調べる
 - 豊富な鉱産資源について調べる。
 - ・鉱産資源や農産物など、加工していないものが中心となっている。
 - モノカルチャー経済の克服を目指す取り組みについて調べる。
- 15 アフリカの社会・経済の開発や発展と国際協力について調べる。
 - ★アフリカの国々の自立や発展のために、どのような取り組みが行われているのだろう。
 - 若い人々の多さと経済発展について調べる。
 - 民主的な社会の実現に向けた課題について調べる。
 - 様々な国際協力の試みについて調べる。

- 【評】 共通農業政策や工業におけるEUの協力体制が、EUにとってどのような利点があるか考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 66～P. 67
- ・国境を越えたヨーロッパ人としての資源・エネルギーや環境に対する意識に着目させる。（地域どうしのつながり）
- ・日本における保全のための取り組みとの違いを考えさせる。
- ・国を越えた電力のやり取りが広がるにつれて生じている問題について考えさせる。
- ・教P. 68～P. 69
- ・統合が進んだことによるEU加盟国間の結びつきや人々の考えの変化について、成果・課題の両面に着目させる。（地域）
- ・移民や難民によって、多文化社会が形作られていることに気付かせる。
- ・EUの統合が進んだことで生じてきた課題に着目させる。
- ・教P. 70～P. 71
- ・通勤・通学や資格の制限など、EUの利点を基に考えさせる。
- ・学習内容を踏まえて、自分の考えを具体的にまとめさせる。
- 【評】 EU統合がもたらした変化と、今後解決すべき課題を考察し、的確に説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 72～P. 75
- ・教科書の資料を見て、気付いたことや疑問点などを話し合わせる。
- ・地形や気候、人口の分布、農業地域の広がり歴史や文化に着目させる。（人と自然とのかかわり）
- ・ナイル川やサハラ砂漠など、特徴的な地形を押さえるとともに、赤道をはさんで気候が対照的に分布していることなどをつかませる。
- ・アフリカの多くの地域がヨーロッパ諸国の植民地になっていた影響が、現在まで続く問題の大きな原因となっていることに気付かせる
- ・教P. 76～P. 77
- ・アフリカの国々の農産物、鉱産資源の生産や輸出品目に着目させる。（地域どうしのつながり）
- ・カカオ、コーヒー、茶などの農産物は、もともと植民地支配をしていたヨーロッパ諸国が経営するプランテーションで栽培されていたことを押さえる。
- 【評】 資料から、アフリカの主な国の輸出品目について読み取る活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・モノカルチャー経済の原因を、植民地支配との関連から捉えさせる。
- ・教P. 78～P. 79
- ・様々な組織や他の国からの支援・協力に着目させる。（地域どうしのつながり）
- ・経済発展に伴って都市化が進み、問題が生じていることをつかませる。

- アフリカのまとめをする。
 - ・ アフリカの国々は、モノカルチャー経済から抜け出すために、他国との結びつきを深め、また、アフリカの国同士の結びつきを強くすることで、自立・発展を目指している。
- 16 自然環境と人々の関わりから、北アメリカを大観する。
 - 資料を見て、北アメリカについて気付いたことを話し合う。
 - ★ 北アメリカの自然環境や人々の生活には、どのような特色があるのだろう。
 - 北アメリカの多様な地形と気候について調べる。
 - 北アメリカに住む人々について調べる。
 - 単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
 - 北アメリカの国々は、世界にどのような影響をあたえているのだろう。
- 17 北アメリカの農業について調べる。
 - ★ なぜ北アメリカの農業は、世界に大きな影響力をもち続けているのだろう。
 - 効率的な農作物の生産について調べる。
 - 適地適作の農業について調べる。
 - 世界を支える北アメリカの農業について調べる。
 - ・ 小麦もとうもろこしも大豆も、国別輸出量は北アメリカの国が3割～4割を占めている。
- 18 北アメリカの工業について調べる。
 - ★ アメリカの工業は、どのように発展し、世界にどのような影響をあたえているのだろう。
 - アメリカの工業の歴史について調べる。
 - 変化するアメリカの工業について調べる。
 - 工業からみた北アメリカの結びつきについて調べる。
- 19 世界に影響を与えるアメリカの文化や企業活動について調べる。
 - ★ なぜ、アメリカはグローバル化する世界の中で、大きな影響力をもっているのだろう。
 - 世界に広がるアメリカの文化について調べる。
 - 世界をリードするアメリカの多国籍企業について調べる。
 - ・ アメリカの企業が作ったスマートフォンやソフトウェアは、日本をはじめ世界中の大きな国で使われている。
- 20 アメリカの生活スタイルについて調べる。
 - ★ アメリカの大量生産・大量消費の社会は、どのような課題をかかえているのだろう。
 - 自動車社会の生活の様子について調べる。
 - 大量生産・大量消費をめぐる問題について調べる。
 - 新たな取り組みについて調べる。
- 21 持続可能な社会をつくるために大切なことを考え、話し合う。
 - ★ どうしたらアメリカは「持続可能な社会」になれるだろう。
 - アメリカの社会が大量生産・大量消費であることを思い

- ・ アフリカの国々は、結びつきの強化や紛争の解決を目指してアフリカ連合をつくったり、他国との協力関係を深めたりしていることをつかませる。
- 【評】 アフリカの国々が、どのように様々な課題を解決し、自立・発展していこうとしているのか考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・ 教P. 82～P. 85
- ・ 教科書の資料を見て、気付いたことや疑問点などを話し合わせる。
- ・ 地形や気候、歴史や民族、人口の分布に着目させる。（人と自然とのかかわり）
- ・ アメリカは世界でも代表的な多民族国家であることを押さえる。
- ・ 教P. 86～P. 87
- ・ 地形や気候などからみた農業の特色や、農業からみた世界との関係に着目させる。（地域どうしのつながり）
- ・ 広大な農地で大型の機械を使い、少ない人数で効率的に農業を行っていることをつかませる。
- ・ 地形や気候に合わせた適地適作の農業が行われていることを押さえる。
- ・ 小麦・とうもろこし・大豆の国別輸出量に占める割合が高いことに気付かせ、北アメリカが「世界の食料庫」と言われる理由をつかませる。
- 【評】 資料から、農作物の国別輸出量を読み取る活動を通して、「知識・技能」を評価する
- ・ 教P. 88～P. 89
- ・ 盛んな工業や工業地域の変化、工業からみた世界との関係に着目させる。（地域どうしのつながり）
- ・ 日本やドイツ、韓国、中国で工業が発展し、アメリカの重工業や自動車工業の競争力が低下すると、先端技術産業中心の工業に変化していったことをつかませる。
- ・ 教P. 90～P. 91
- ・ アメリカで生まれ、世界に広まった文化やサービス・製品に着目させる。（地域どうしのつながり）
- ・ ショッピングセンターやコンビニエンスストア、ファーストフードのチェーン店方式などアメリカの企業が生み出したサービスが日本の生活にも定着していることに気付かせる。
- ・ 地図帳P. 65を活用させる。
- 【評】 北アメリカから世界に広まった文化や企業活動について、自分たちの生活との関わりを意識しながら考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・ 教P. 92～P. 93
- ・ 人間の活動が自然環境に与える影響が強まっている現状と資源の有限性に着目させる。（地域）
- ・ アメリカの生活スタイルは、多くの資源やエネルギーを使い、大量の廃棄物を生み出していることに気付かせる。
- ・ 環境保全や持続可能な社会の実現に向けて、新たな取り組みが始まっていることをつかませる。
- ・ 教P. 94～P. 95

- 出す。
- アメリカで生活する人の考え方に反対する意見をまとめる。
 - 持続可能な社会をつくっていく大切さについて考える。
 - ・北アメリカの人々は、エネルギーをたくさん使って経済を発展させていくことを肯定しているが、持続可能な社会をつくっていくためには省エネルギーが大切であることに着目し、自宅で無駄なエネルギーを使っていないか意識して生活していきたい。
 - 北アメリカのまとめをする。
- 22 自然環境と人々の関わりから、南アメリカを大観する。
- 資料を見て、南アメリカについて気付いたことを話し合う。
 - ★南アメリカの自然環境と人々の生活には、どのような特色があるのだろう。
 - 南アメリカの自然環境について調べる。
-
- 南アメリカの自然環境に応じた人口分布と産業について調べる。
 - 単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
 - なぜ、南アメリカの人々は開発を進めるとともに、環境保全の取り組みに努めているのだろう。
- 23 南アメリカの移民の流入と開発による変化について調べる。
- 南アメリカの人々の生活は、世界各地からの移民や開発でどのように変化したのだろう。
 - 南アメリカの歴史について調べる。
 - 多様な民族と文化について調べる。
 - 絶え間ない開発による生活への影響について調べる。
- 24 南アメリカの世界規模の環境問題と改善に向けた取り組みについて調べる。
- ★地球全体の環境に影響している南アメリカの環境問題を解決するため、人々はどんな努力をしているのだろう。
 - 大規模で急速な開発による環境問題について調べる。
 - 熱帯雨林を守る取り組みについて調べる。
 - 環境に配慮した新しい取り組みについて調べる。
 - 南アメリカのまとめをする。
 - ・開発のために熱帯雨林を伐採してしまうと、簡単には元に戻すことができない。しかし、経済発展には開発が必要なため、開発と環境保全を両立させ、持続可能な開発を進めていこうとしている。
- 25 自然環境と人々の関わりから、オセアニアを大観する。
- 資料を見て、オセアニアについて気付いたことを話し合う。
 - ★オセアニアの自然環境や人々の生活には、どのような特色があるのだろう。
 - オーストラリア大陸と太平洋の島々について調べる。
 - 自然環境の違いによる多様な生活について調べる。
 - 自然環境を生かした産業について調べる。
 - 単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
 - 世界各国から移り住んだ人々は、以前から住んでいた人々とどのように共存しているのだろうか。
- 26 オセアニアの多様性を認める社会づくりについて調べる
- ★オセアニアでは、なぜ多様性を認める社会づくりが進められてきたのだろう。
 - 多民族国家のオーストラリアについて調べる。
 - 白豪主義から多文化社会への変化について調べる。
 - 多様な民族の共生について調べる。

【評】北アメリカの人々の生活スタイルから地球的課題を見だし、その解決の方策を自分たちの生活のあり方を踏まえて考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・教P. 96～P. 99
- ・教科書の資料を見て、気付いたことや疑問点などを話し合わせる。
- ・地形や気候、人口の分布、農業や鉱業に着目させる。（人と自然とのかかわり）
- ・アンデス山脈周辺では、標高が高くなるにつれて気候が大きく変化することを押さえる。

- ・雨温図から、南アメリカの中でも地域によって気候が大きく異なることに気付かせる。
- ・鉱産資源を利用した工業化が積極的に進められていることを押さえる。

- ・教P. 100～P. 101

- ・世界各地からの移民によって生み出された文化と、開発の進展に伴っていく課題に着目させる。（地域どうしのつながり）

- ・ヨーロッパによる植民地化が、南アメリカの歴史や文化に大きな影響を与えていることを押さえる。
- ・南アメリカでは都市化が進んでいるが、人口増加に開発が追いつかず、各地にスラムが形成されていることを押さえる。
- ・教P. 102～P. 103

- ・農業や工業にみられる、これまでとは異なる自然環境へのはたらきかけや、生活の中で環境を保全しようとする人々の取り組みに着目させる。（人と自然とのかかわり）

- ・バイオ燃料の利点と、需要が伸びることで生じる課題、その課題を克服するための取り組みについて押さえる。
- 【評】「開発と環境保全」という主題から南アメリカの地域的特色を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

- ・教P. 106～P. 109
- ・教科書の資料を見て、気付いたことや疑問点などを話し合わせる。
- ・地形や気候、それらに対応した人々の生活や産業に着目させる。（人と自然とのかかわり）

- ・教P. 109の「地理＋α」を活用して、オーストラリアの内陸部の乾燥地帯では、フライング・ドクターや通信教育など、特色ある生活をしていることをつかませる。

- ・教P. 110～P. 111

- ・オセアニアでは、文化的な違いを認め合う社会をつくるため、人種差別を法律で禁止したり、多言語放送など様々な言語を守るための取り組みをしたりしている。
- 27 オセアニアの太平洋の島々の多様な文化と自然環境について調べる。
 - ★自然を活用した人々の生活には、他地域の人々との交流によって、どのような変化があったのだろう。
 - 太平洋の島々の文化について調べる。
 - 深刻化する環境問題について調べる。
 - 増えるアジアからの観光客の様子について調べる。
- オセアニアのまとめをする。
- 28 学習を振り返り、単元のまとめをする。
 - 単元の学習内容を基に、自分の考えをまとめる。
 - ・六つの州の人々の生活には、自然環境が大きく関係していることが分かった。また、それぞれの州が発展を目指していく中で、環境保全との両立や、人々の生活の格差などの課題を抱えていることが分かった。

【評】オセアニアが多文化社会を実現していくための取り組みについて考え、まとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する

・教P. 112～P. 113

・太平洋の島々の自然環境の特色や、他地域との経済的な交流に着目させる。（人と自然とのかかわり）

・観光客の増加は、地元の経済によい影響を与える一方で、外国企業に利益が流れることや環境破壊などの問題が生じていることをつかませる。

・教P. 117

【評】六つの州にはどのような特色や課題があるのかについて考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】